

第22回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成22年2月

応募者名: 札幌市 建設局 土木部

事業の名称: 都市計画道路3・4・179北郷通整備事業

実施都市名: 札幌市

事業目的

北郷通は、国道12号から札幌新道までの区間約2,020mが都市計画決定されており、本事業ではそのうち鉄道との立体交差（北郷通こ線橋）を含む延長1,070mを整備している。

本事業は、緊急対策踏切である「北郷通り踏切」による慢性的な交通渋滞を解消するため、また近接するJR白石駅周辺地区整備事業との円滑な道路ネットワークを形成するため整備を進めるものである。

事業概要

事業名：都市計画道路3・4・179北郷通整備事業

路線名：3・4・179北郷通

事業箇所：白石区本通1丁目北～白石区北郷2条4丁目

事業延長：L=1,070m、

幅員：W=20m～29.5m(2車線)

立体交差部：L=720m、W=14.5m、橋長L=282m

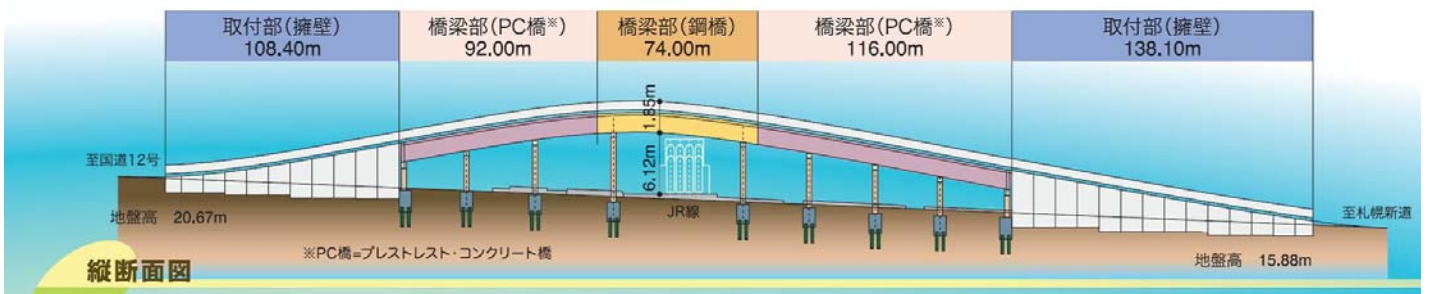
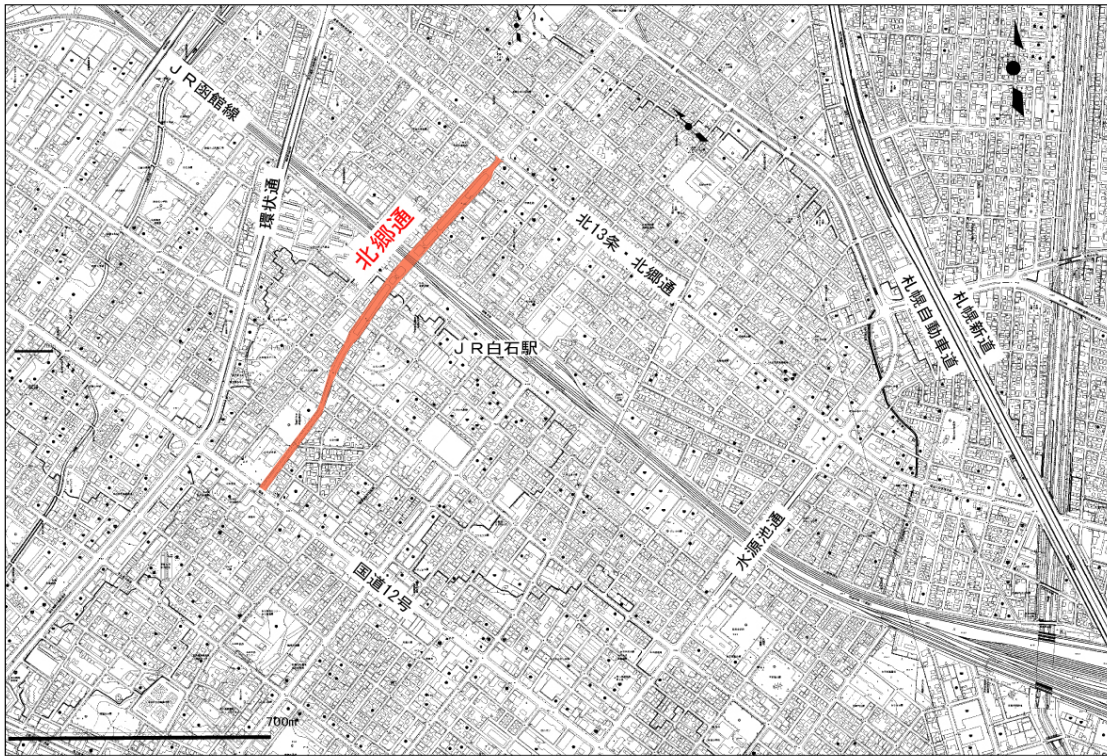
総事業費：約113億円

事業期間：平成11年度～平成20年度

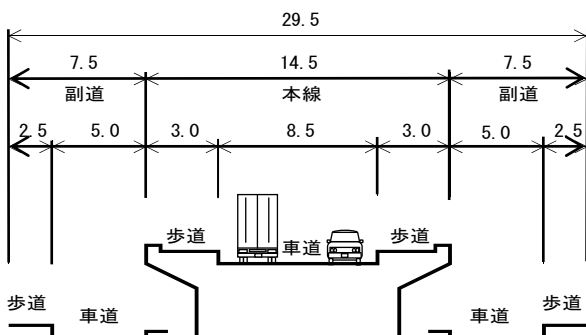
本事業は、JR函館線を横断しており、既設の北郷通り踏切による慢性的な交通渋滞を解消するために、立体交差（こ線橋）整備を行ったものである。

こ線橋は、耐震性・車両走行性に優れた「鋼・PC箱桁混合橋」であり、剛構造に国内初となる支圧接合方式を採用したこと、また、景観に配慮したデザインとしたことが特徴である。橋脚形状をV字にすることで桁下空間の視界に配慮し、地上部とこ線橋を結ぶ階段に曲線斜路付階段を設置している。

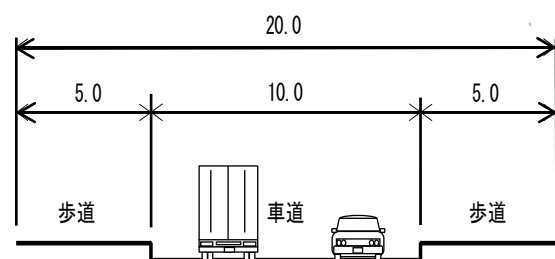
事業位置図



(立体交差部のみ)

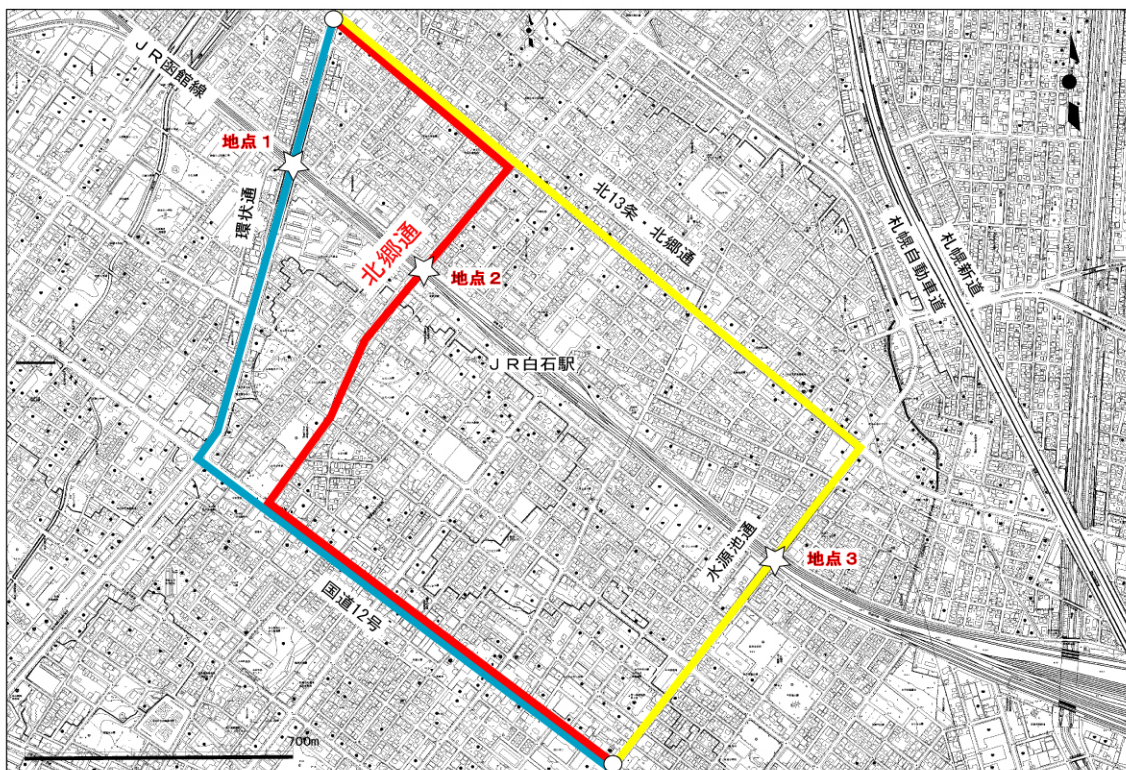


立体交差部



一般部

北郷通の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名: 都市計画道路
3・4・179北郷通整備事業
路線名: 3・4・179北郷通
事業箇所: 白石区本通1丁目北
～白石区北郷2条4丁目
事業延長: 1,070m
幅員: 20～29.5m(2車線)
総事業費: 約113億円
事業期間: 平成11年度～平成20年度

○交通量調査結果

供用前 平成20年10月29日

供用後 平成21年10月27日

断面交通量(12時間)

地点1) 28,591台 ⇒ 26,791台

地点2) 5,650台 ⇒ 9,204台 (事業区間)

地点3) 19,685台 ⇒ 16,480台

旅行速度 15.4km/H ⇒ 20.5km/H (事業区間)

「整備効果」

- 踏切の除却による交通渋滞の解消、踏切事故の解消及びバスの定時性の確保
- 周辺のJR白石駅周辺地区整備事業との交通ネットワークの形成
- 斜路付階段の設置によりバリアフリーに配慮
- 南北地域の一体化に寄与
- デザイン性の橋脚及び斜路付階段の設置により、地域性や街並みとの調和に配慮



事業前写真

平成14年10月撮影



平成14年10月撮影



平成14年10月撮影



事業後写真

平成20年12月撮影



平成20年11月撮影



平成20年11月撮影

